

3. あなたが考えるお住まいの学区に対するイメージ（市内の方のみ）

■守山学区

学区	学区イメージ
守山	・都市化のなかで伝統文化が継承されている。
守山	・目に見えてわかるのが中山道の町並みなので、景観を大切に育てていきたいが、個人の資産をどのように守っていくのが問題と思う。市の積極的な指導が大事である。
守山	・ベッドタウンとしての立地の良さ、自然が豊かで無理なお受験も流行っていない等、子育てのしやすさから、子育て世代の他府県からの転入が急激に増えて、旧来の枠組み世界とあつれきを産んでいる。「親に子供を預けて若奥さんが地域に奉仕する」という自治会。子供会活動のあり方が、核家族に負担になっている。
守山	・人口増加⇨自然破壊（街の破壊）とも考えており、一方高齢化が街全体に広がり、街そのものが老化している。
守山	・ホテルが多い町
守山	・高齢化により元気がない。
守山	・守山学区は旧野洲郡と旧栗田郡物部村の違いがあり、統一イメージはない。
守山	・伊勢遺跡や、下之郷遺跡の存在する学区ではあるが、「中山道・守山宿」をメインに周辺に街化された市街地の形成・周辺に住宅の形成。 ・守山の歴史の再現（遺跡と関連する歴史的なものの発掘）。 ・湧き水を活用し、年中水が学区の周辺を流れ、水辺に生き物が育ち、植物が咲く綺麗な街。
守山	・水に対する街のあり方。歴史に対する街づくり。

■吉身学区

学区	学区イメージ
吉身	・守山駅に近く、集合住宅等、新しい住宅が多く建ちはじめていることもあり、新しい町づくり、新しいふるさとづくりのモデル地域とするべき。
吉身	・便利（学校・医療・交通）。
吉身	・田園の町がなくなりました（立入・吉身・岡）。住宅の増加であるが、道が暗い。
吉身	・下之郷遺跡を格上げしたプランに絞ってはどうか。
吉身	・学区のことより、自治会の方が問題あり。頭が痛い。
吉身	・下之郷史跡を一つの大きな点として、下之郷吉身之町で下之郷史跡を守り育て、心の中心となる「まちづくり」をしよう。住民参加をもっと出来る、政策、行政サービス視点が必要と思う。

■小津学区

学区	学区イメージ
小津	・小津神社の祭礼等で結びつきの強い学区と考えていたが、新興住宅が増えるにつれ、そうではなくなった気がする。
小津	・野洲川古流（境川）の自然堤防にできた集落が連帯する学区。中山道の旧市街地と琵琶湖をつなぐ集落と田園地域。
小津	・高齢化に対応する街づくりを考えることが必要。
小津	・知識が浅いので、学区の良さがわからない。又、それらを保存していくだけで活性化する事になるか。高齢化等の問題が残っているのに活性化プランだけで良いのか疑問。
小津	・振興住宅なので、地元の事業取組について、あまりわからない。
小津	・緑あふれるベッドタウン。

■玉津学区

学区	学区イメージ
玉津	・ 寺社等、歴史上貴重な建物がある学区ではあるが、新興住宅の住民も混在している。自治会差はあるが、高齢化率も年々高くなってきている。また、若い世代が外に出ることが多く、少子化が急激に進んできたので、この子育て世代が、戻ってこれるような学区になればと思う。
玉津	・ 琵琶湖が近くにあり赤野井湾を中心に活性化。
玉津	・ のんびりといいところ。
玉津	・ 玉津学区では、琵琶湖に近く、琵琶湖を活かした町興しをイメージしている。 ・ 一休和尚開祖の少林寺、足利義昭將軍の矢島御町、安野井のすわ屋敷等、歴史の宝庫でそれらを活かさなければと思う。
玉津	・ 玉津学区は守山中心にあり、自然、田園、豊かな水資源が豊富な守山市のイメージにあてはまる地域だと思う。 ・ 新旧住民が楽しい守山市政になって4年、まちづくりに前向きに取り組んできた地域だと思う。

■河西学区

学区	学区イメージ
河西	・ 各自治会が縦割り（他自治会を知らない）。 ・ 地域の歴史と愛着を感じてもらえていない。
河西	・ 不便な田舎から、まだ抜け出せない。
河西	・ 新しい考えを持つ人が多いが、実際は既にリタイヤした方が中心でまちづくりが行われている。何十年も男女の役割分担を基にした考え方で、自治会、学区が動いているのが少し残念。現役の人や女性が役員（委員）への登用をして、今の時代に合ったまちづくりをすることが（今住んでいる河西）学区にふさわしく、魅力を蘇らせることになるだろうと思う。
河西	・ 勝水村・・・河西村に決定する時の候補にあった村名。 ・ 綺麗な水に対する誇り。 ・ 洪水に対し負けない打ち勝つという意志。
河西	・ 河西学区は少し町から外れている関係、どこが中心でどこがポイントかがわからないので、高谷教授先生の話しの中で一つ一つの村を建直のは大変な事と思う。出来れば、村、村の建物（古）、一つの町に取り寄せて古代の村の風景をして欲しい。
河西	・ 水を中心に！
河西	・ 田園都市は維持しつつ、住みやすい街。野洲川の利用。
河西	・ 田畑が多い農村的地域。かなり大きな町と中小の町が存在する複合的な学区。学区においては、各自治会の問題の共有化。
河西	・ 野洲川周辺に住居があるのどかな田園都市である。

■速野学区

学区	学区イメージ
速野	・北部市街区域の道路整備、遅れている。民間任せで、都市計画、インフラまだまだ不 充分である。
速野	・野洲川河川敷は一応公園化が進めれ、実際、整備の為の資金投入はされているが、運 用の為の具体的な策がない。大きなイベント等の検討や継続的利用が出来る様な公園 (希望ヶ丘等)をつくり直しては？
速野	・地球市民の森をはじめ、生きた水(蛍の住む水)が下流まで(琵琶湖)通水する事を 望む。
速野	・自然に恵まれたすばらしい学区。琵琶湖に面した湖辺の距離が一番長い学区。 ・旧来の住民と、新しい住宅地の人々が共存し、すばらしい人的環境の整った学区。
速野	・新旧住宅が混在して、活気があるが若者・女性の活躍する場が少ない。
速野	・野洲川南流の恵みと自然とのたたかいかから生まれたくらし(生活)、風土。
速野	・琵琶湖隣接地であり、北玄関として発展させる必要。中心市街地を北部へ。遊休地、 県有地へ市庁舎を(琵琶湖を前面に)。
速野	・昔からある町と新しい町の差が大きく、昔からの町では、神社や寺があり、その行事 で町を盛り上げる事ができるが、新しい町では、その様なことがないので、学区全体で の行事等がもっとあると、学区全体が盛り上がる事ができる。 ・地球市民の森、美崎公園、なぎさ公園の活用を更に上げる。
速野	・港町。この浜の歴史”木浜内湖”の美観再生。田舟が農業を支えた。木浜湾。水路。 田園都市を象徴する。無柱化の農業政策？琵琶湖に面する速野学区を強調するプランを 作る。
速野	・旧の部落の発展が止まっているようだ。 ・新たな都市(住宅地)ができて、人口が増えているように思われるが、旧住宅地で高 齢化が進んでいる。
速野	・野洲川とともに生活してきた地域だが、「水」に関しては、豊かさを失いつつある。 また、人口増はあるが、それに伴う地域資源、活用は不十分になったり、維持すること に困難をきたしつつある。どちらかといえば、負のイメージが強くなりつつある。
速野	・守山市の北玄関としての発想の下に学区が輝き、住人が輝く様にしたい。
速野	・守山市内への僻地的存在(地理的、文化面で)。

■中洲学区

学区	学区イメージ
中洲	・学区を分断した野洲川、河川敷の整備。 ・地区内河川に水を流す。
中洲	・人口の減少、田園都市なのに町に水がない。 ・環境センター問題、等々の解決に繋がる活性化プランの検討。
中洲	・田舎
中洲	・人口は少ないが、他の学区に比べて、隣人との付き合いなどあり、良い関係があると思 う。
中洲	・美しい水と緑に囲まれた豊かな田園地帯。

■その他

学区	学区イメージ
不明	・美しい水辺がある田園地域。農村と開発地域がはっきり分かれている。
不明	・湧水が多く、水の美しい、農村地域。